



## 2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月15日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 泰一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦 TEL 03-6661-7840  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,543	△36.3	△110	△177.9	107	△34.9	△100	△196.6
2020年9月期第1四半期	3,993	△11.0	141	34.8	165	35.9	104	19.2

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 △95百万円 ( △184.1%) 2020年9月期第1四半期 113百万円 ( 163.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△19.94	—
2020年9月期第1四半期	20.66	20.48

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	5,477	2,452	44.8
2020年9月期	5,604	2,573	45.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 2,452百万円 2020年9月期 2,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想については、本日(2021年2月15日)公表いたしました「第37期業績予想の公表および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,110	△35.0	△205	△176.4	97	△67.2	△111	△161.1	△21.97
通期	10,317	△13.8	△301	△71.9	22	△91.2	△185	△891.1	△36.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日(2021年2月15日)公表いたしました「第37期業績予想の公表および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	5,285,600株	2020年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	232,070株	2020年9月期	232,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	5,053,530株	2020年9月期1Q	5,046,594株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2021年9月期1Q及び2020年9月期末 146,700株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2021年9月期1Q 146,700株、2020年9月期1Q 150,000株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている今後の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用あたりの注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、G o T oキャンペーン等をはじめとする政府の各種施策等の効果もあり、国内景気は穏やかながらも持ち直しの傾向で始まりました。その後、人の移動も活発となり、11月には株価が29年ぶりに高値を更新したほか、観光関連を中心に持ち直しの動きが継続しました。しかしながら、12月に入ってから、新型コロナウイルス感染症の再拡大によって、観光支援の各種施策が全国的に一時停止されたこともあり、持ち直し傾向はストップ、国内景気は悪化しました。

このような環境下にあつて当社グループは、景気動向に合わせてコンパクトな事業運営に専念いたしました。また、雇用調整助成金の特例措置を活用することで、雇用の維持に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は2,543百万円（前年同期比36.3%減）、連結営業損失は110百万円（前年同期は営業利益141百万円）、連結経常利益は107百万円（前年同期比34.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は100百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益104百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の概況は以下のとおりです。

## ①スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核となるセグメントです。

当第1四半期連結累計期間においては、G o T oキャンペーンの効果により、ホテルの稼働がアップしたことで、当初見込みを上回る売上高を確保することができました。また、11月からは2件のホテルから新たに業務を受託することとなりました。

費用面においては、パート・アルバイトの休業補償により人件費が膨らみ、営業損失の計上となりました。また、休業補償に伴う雇用調整助成金については、前年度の未支給も含めて営業外収益として計上されております。

この結果、売上高は1,034百万円（前年同期比47.0%減）、営業損失は49百万円（前年同期は営業利益126百万円）となりました。

## ②フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・レストラン運営の受託を全国で展開し、フードビジネス事業としてセグメントを構成します。

当第1四半期連結累計期間においては、当セグメントにおいてもG o T oキャンペーンの効果や、契約内容の見直し等により、売上高は当初見込みを上回って推移しました。

費用面においては、要員体制の見直し、シフトコントロールの適正化に取り組んだことで、営業損失を当初見込みより縮小することができました。また、休業補償に伴う雇用調整助成金については、前年度の未支給も含めて営業外収益として計上されております。

この結果、売上高は505百万円（前年同期比32.4%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

## ③空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及び香りまで提供する空間プロデュース事業としてセグメントを構成いたします。

当第1四半期連結累計期間においては、コロナ禍の影響により大型件名の減少及び発注予算の縮小、また新規設備投資や更新を控える傾向はあるものの、政府施策に後押しされた景気回復基調や、前期後半からの積極的な営業活動、Eコマースの活用などにより、当初見込みを上回る売上高を確保することができました。

費用面においては、人件費及びその他経費の圧縮ができたことから、当初見込みより営業損失を縮小することができました。

この結果、売上高は995百万円（前年同期比22.4%減）、営業損失は18百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し、127百万円の減少により5,477百万円となりました。その主因は、現金及び預金143百万円の減少、受取手形及び売掛金127百万円の増加、未収入金126百万円の減少などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に対し、6百万円の減少により3,025百万円となりました。その主因は、未払金の減少42百万円、その他流動負債の増加243百万円、賞与引当金の減少85百万円及び長期借入金55百万円の減少などによるものであります。

純資産は、121百万円減少し、2,452百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、新型コロナウイルス感染症による業績への影響見込みの合理的算定が困難なことから、2020年11月10日に公表した「2020年9月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりましたが、現時点における当社が入手可能な情報から精査し、算定いたしましたので、2021年9月期の業績予想について公表することとしました。詳細については、本日公表の「第37期業績予想の公表および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,149,207	1,005,523
受取手形及び売掛金	1,192,830	1,320,436
有価証券	50,367	—
商品及び製品	384,697	422,599
仕掛品	53,920	60,704
原材料及び貯蔵品	10,633	16,523
未収入金	204,743	78,092
その他	173,738	144,260
貸倒引当金	△492	△633
流動資産合計	3,219,646	3,047,505
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	937,899	937,899
減価償却累計額	△490,371	△498,079
建物及び構築物(純額)	447,527	439,819
土地	951,628	951,628
その他	184,238	184,892
減価償却累計額	△135,243	△139,797
その他(純額)	48,994	45,094
有形固定資産合計	1,448,151	1,436,542
<b>無形固定資産</b>		
のれん	38,869	37,271
その他	92,602	88,002
無形固定資産合計	131,471	125,274
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	408,954	461,407
繰延税金資産	213,169	226,021
その他	184,100	180,964
貸倒引当金	△509	△509
投資その他の資産合計	805,714	867,884
固定資産合計	2,385,337	2,429,701
資産合計	5,604,984	5,477,207

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	410,810	415,365
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	110,000
未払金	536,270	493,923
未払法人税等	64,873	1,318
賞与引当金	141,527	55,827
その他	303,570	547,513
流動負債合計	2,017,051	2,073,947
固定負債		
長期借入金	655,000	600,000
リース債務	61,216	53,672
退職給付に係る負債	261,288	265,012
株式給付引当金	12,409	6,788
長期未払金	22,544	22,544
資産除去債務	721	721
その他	1,500	2,511
固定負債合計	1,014,679	951,250
負債合計	3,031,731	3,025,197
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	1,933,494	1,806,737
自己株式	△96,122	△96,122
株主資本合計	2,510,240	2,383,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,012	68,525
その他の包括利益累計額合計	63,012	68,525
純資産合計	2,573,252	2,452,009
負債純資産合計	5,604,984	5,477,207

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,993,303	2,543,770
売上原価	3,278,385	2,163,075
売上総利益	714,917	380,695
販売費及び一般管理費	572,991	491,215
営業利益又は営業損失(△)	141,925	△110,519
営業外収益		
受取利息	331	331
受取配当金	9,625	2,853
受取賃貸料	2,312	2,353
物品売却益	11,862	—
雇用調整助成金	—	203,788
その他	4,301	13,030
営業外収益合計	28,433	222,357
営業外費用		
支払利息	3,311	3,061
支払手数料	580	678
その他	686	243
営業外費用合計	4,578	3,983
経常利益	165,780	107,854
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	—	4,407
役員退職慰労金	—	215,590
特別損失合計	0	219,997
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165,780	△112,142
法人税、住民税及び事業税	16,317	736
法人税等調整額	45,177	△12,123
法人税等合計	61,494	△11,386
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,286	△100,755
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	104,286	△100,755



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,286	△100,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,968	5,513
その他の包括利益合計	8,968	5,513
四半期包括利益	113,254	△95,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,254	△95,242
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	1,952,214	747,323	1,281,715	3,981,252	12,050	3,993,303	—	3,993,303
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	390	281	2,197	2,868	84,198	87,066	△87,066	—
計	1,952,604	747,604	1,283,912	3,984,121	96,248	4,080,369	△87,066	3,993,303
セグメント利益	126,799	13,797	1,976	142,573	9,611	152,185	△10,259	141,925

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△10,259千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	1,034,470	505,144	994,028	2,533,643	10,127	2,543,770	—	2,543,770
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	390	91	1,776	2,257	69,480	71,737	△71,737	—
計	1,034,860	505,235	995,804	2,535,901	79,607	2,615,508	△71,737	2,543,770
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△49,280	△4,465	△18,027	△71,772	3,410	△68,362	△42,157	△110,519

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△42,157千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(雇用調整助成金収入)

当社は、新型コロナウイルスの影響により従業員の休業に伴う雇用調整助成金の交付申請をし、交付受給額及び見込額は以下のとおりであります。

(1) 当該助成金の交付申請額 68,489千円 (2021年2月15日時点)

(2) 上記のうち、助成金の受給額

① 助成金の入金日 2021年1月28日～2021年2月5日

② 助成金の受給額 35,016千円

(3) 損益に与える影響 2021年9月期第2四半期連結会計期間以降において、営業外収益で計上いたします。